

# News Release

## 春に自転車の事故が多く発生しています ～正しい乗り方と乗車前確認・定期点検で事故を防ぎましょう～

NITE (ナイト) [独立行政法人製品評価技術基盤機構、理事長：辰巳 敬、本所：東京都渋谷区西原] は、平成 29 年 3 月 23 日 (木) に本所ナイトスクエアにおいて、記者説明会を開催します。

1. 自転車<sup>\*1</sup>で通勤、通学を始める人も多いこれからの季節、使用する機会が増えるとともに、自転車による製品事故が多く発生しています。

NITE (ナイト) が収集した自転車に関する製品事故件数<sup>\*2</sup>は平成23年度から平成27年度までの5年間に合計405件ありました。このうち約8割 (316件) は、重傷 (151件) や軽傷 (165件) を伴っています。被害者を年代別にみると、10歳代が最も多く、次いで30歳代・40歳代となっており、重軽傷事故の約半数 (154件) は使用を開始してから1年未満に発生している状況です。

自転車は、誤った乗り方や部品組み付けの不具合が走行中の転倒事故につながりやすく、事故が発生するとけがをする割合の高い製品です。今一度、自転車の正しい使い方や乗車前の確認項目などの気をつけるポイントを確認して、事故を未然に防止しましょう。

### 2. 主な事故事例と注意事項

- 自転車で通学途中、前輪に異物を挟み込み前輪がロックしたため、バランスを崩して前方に転倒し、前歯を折った。 (平成27年6月、長野県、10歳代・男性、重傷)  
⇒ ハンドルに買い物袋や傘などをぶら下げて自転車に乗らないでください。 買い物袋や傘が前輪に巻き込まれると、前輪がロックする危険があります。
- 通信販売で購入した自転車の前輪を固定する際に、クイックリリース (クイックリリース) レバーを使用せず、調整ナットの締め付けのみで行ったため、走行中に固定が緩み前輪が脱落して転倒し、右肩にけがを負った。 (平成27年4月、大阪府、30歳代・男性、軽傷)
- 販売店においてペダル締め付けが不十分であったため、走行中に右ペダルがクランクから外れバランスを崩して転倒し、鎖骨を折った。  
(平成26年9月、岡山県、30歳代・男性、重傷)  
⇒ 乗車前には必ず、車輪やペダルが正しく取り付けられているか、緩みやがたつきがないか確認してください。
- 自転車 (変速機なし) のチェーンが著しく緩んだ状態で立ちこぎ走行をしたため、チェーンが外れバランスを崩して転倒し、指を切断した。  
(平成26年7月、東京都、30歳代・男性、重傷)  
⇒ 自転車に乗車する前に、チェーンにたるみがないか確認してください。 たるんだまま使用すると、走行中にチェーンが外れ、バランスを崩して転倒するおそれがあります。
- 使用者が、前ホークが変形した状態で乗車を継続していたため、走行中に前ホークが折れ、バランスを崩して転倒し、軽傷を負った。 (平成26年7月、広島県、10歳代・男性、軽傷)  
⇒ 車体に衝撃を与えた場合は、そのまま乗車せず、販売店などで異常がないか点検を受けてください。 また、定期的に自転車整備士から点検を受けてください。

(※1) 一般用自転車 (シティ車及びスポーツ車)、子ども用自転車、折り畳み自転車、電動アシスト自転車を含む。

(※2) 平成 29 年 2 月 28 日現在、重複、対象外情報を除いた製品事故発生件数。

## (1) 記者説明会開催概要



日 時：平成 29 年 3 月 23 日（木）  
10:00～（開場 9:00～）

会 場：ナイトスクエア

（東京都渋谷区西原 2-49-10 NITE 1 階）

参加を希望される方は、平成 29 年 3 月 22 日（水）18:00 までに、「お問い合わせ先担当者」へご連絡ください。会場準備のために必要ですので、ご協力くださいますようお願いいたします。

[ 電車でお越しの場合 ]

1. 京王新線「幡ヶ谷」駅から徒歩約 10 分
2. 小田急線・東京メトロ千代田線「代々木上原」駅から徒歩約 15 分

## (2) ご説明する内容

平成 23 年度から平成 27 年度までの 5 年間に発生した自転車に関する製品事故 405 件のうち、重軽傷事故 316 件について、被害者の年齢別や事故発生月の事故発生状況、及び事故事例と事故を防止するためのポイントを、再現映像を交えてご紹介いたします。

また、当日は事故の再現映像を収録した DVD を配布いたします。



(写真) クイックリリース方式の車輪で調整ナットの締め付けのみで固定し走行中に車輪が外れる状況

## (3) 当日入館時のご注意

NITE 本所（東京都渋谷区西原）では、入館管理システムとして、セキュリティゲートを導入しております。入退館の際は、受付にて発行する入館許可証が必要となりますので、お手数をおかけいたしますが、ご協力くださいますようお願いいたします。

**入館時**：受付で外来者用入館許可証をお渡ししますので、セキュリティゲートの読み取り部分にかざして入館してください。

**退館時**：入館許可証を受付に返却してください。

※ 庁舎内では、入館許可証を首からお掛けください

### お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター 所長 嶋津 勝美  
担当者：穴井、田代

- 記者説明会前日（3月22日（水））及び当日（3月23日（木））  
電話：03-3481-6566 FAX：03-3481-1870
- 3月21日（火）まで及び3月24日（金）以降  
電話：06-6612-2066 FAX：06-6612-1617